

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で夏休みイベント「けせんぬま防災きっずスクール ー液状化現象を学ぶ日ー」を開催しました（2022/8/21）

テーマ：けせんぬま防災きっずスクール「地震で地面が溶ける？～液状化を知ろう～」

会場：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

8月21日（日）、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を会場に、「けせんぬま防災きっずスクールー液状化現象を学ぶ日ー」を開催しました。これは、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館と当研究所との夏休み3回目のコラボ企画の開催となり、「地震で地面が溶ける？～液状化を知ろう～」をテーマに、液状化についての講演とペットボトルを使用した「液状化実験」を行いました。講師は、当研究所の森口周二准教授（計算安全工学研究分野）が務め、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）がサポートしました。

講演では、液状化とはどのような仕組みで発生するのかを、幅広い年代にわかりやすく説明しました。また、液状化実験では、参加者がペットボトルと砂で実験装置を作成して各自で実際の液状化を体験し、じっくり観察をしていました。

当日は、市内外から16名が参加し、子どもも大人も最後まで楽しく液状化現象について学び、盛会のうちに終わりました。

新型コロナウイルス感染症対策として、当日は検温、手指消毒、マスク着用、実験時には密にならないよう屋外で実施などの対策を行いました。



森口周二准教授



会場の様子①
（座学：室内）



会場の様子②
（座学：室内）



液状化実験の様子①
（体験：屋外）



液状化実験の様子②
（体験：屋外）



液状化実験の様子③
（体験：屋外）

文責：江畑由紀（気仙沼分室スタッフ）、担当教員・佐藤翔輔（防災社会推進分野）